

PBLって難しいんでしょ？

「探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業」指定校
江田島市立能美中学校区の授業づくりと実践

はい、難しいですが、
子供は変わりますよ。
あ、教師も地域もね。

児童生徒の探究的な学びが生まれる授業の創造

～小中9年間を見通した生活科・総合的な学習の時間の在り方～

ステップ1

とりあえず
まずは、何から
始めたらいい？

【子供にどのような力を
つけたいか明確に】

まずは一同に会して
育てたい資質・能力の設定や
単元の目標を設定して
子供の学びの姿を思い描こう！

教師のベクトルが一致！



ステップ2

PBLの児童生徒
主体で課題発見なん
て難しいんでしょ？

【体験から学ぶ仕掛けづくり】

「夢実現型」「提言型」「貢献型」
どんな視点のテーマで単元づくりを
したいかを明確にして、
仕掛け(体験活動)を吟味しよう！

教師のゴールイメージは
単元づくりでしておこう！



ステップ3

ファシリテーターって
いったいなに？！

【教師の役割はファシリテーター】

答えを用意したり誘導したりしては
いけません。子供の思いを言語化させ
てストーリーづくりで自分なりのゴ
ールイメージをもたせる！
例：なぜそう思うの？ ほんと？
どうしたらできそう？ どうしたい？
それしたらどうなるの？

ストーリーづくりは
論理的な思考の訓練です！



ステップ4

PBLは「発信」が
重要ななの？

【リアルな発信や実行の場を設定】

単なる学習発表ではありません。
実際の社会の場で真剣勝負の
発信の場を与えることで、子供たちは
実社会とつながることができる！

「真剣勝負」で未来を切り拓く力となる！



【小中連携教育の目標】

ふるさとを愛し、ふるさとに学び、ふるさとに貢献する児童生徒の育成

☆育てたい資質・能力と評価の共有
児童生徒の自分の学びを見える化！

☆単元構想シートの活用
教師がチームでゴールイメージをもつ！

☆校区の小・小・中の連携
校区全体会 校区クラスルーム
児童生徒の学びをつなぐ！

☆地域と協働の促進
ゲストティーチャー 地域ボランティア
外部発信、外部評価でやる気スイッチON！



探究の一人歩き！

研究主題を
実践する
ための
3つの
探究の
旅が
始まる！

PBL(プロジェクト型学習)で児童生徒は変わる！
そして、教師も地域も変わる！

江田島市立中町小学校 3学年 単元構想図

「えたじまん さぐり隊」 ～えたじまん発見！☆江田島大好きプロジェクト～

○江田島のこと、くわしく知っている人はだれかな？家の人や周りの人に聞いてみよう！

江田島市 産業部 交流観光課
観光係の方からお話を聞きました！

Nsハッピートラベルのキャラクター
「うみちゃん」ぼうしの上に えたじまん

課題設定①

第一次 ☆えたじまんのひみつをさぐる(見て！聞いて！体験しよう)(22)

情報の収集

整理・分析

まとめ・表現

振り返り

課題設定②

第二次 ☆えたじまんのひみつをもっとさぐる！(25)

整理・分析

○えたじまん にん定会議をしよう【本時 46/60】

まとめ・表現

課題設定③

第三次 ☆Ns3ハッピートラベルツアーに出かけよう！(10)

情報の収集

整理・分析

まとめ・表現

振り返り

わくわく えたじまんツアー
2月21日(水) 予定

①オリーフクトリー → ②さとうみ科学館 → ③江田島荘ランチ → ④やなが水産(カキ)

○えたじまんマップ(リーフレット)を作って、えたじまをを広げよう

江田島市 産業部 交流観光課
観光係の方に 自分たちの「えたじまん」を伝えたい！

家族に伝えたい！
地域の人に伝えたい！

3年生最後の参観日
伝えようよ！！

家族 地域の人 中町小学校の先生や友達 江田島に来る人

考えたことを他の
学年に伝えたいな。
お世話になった人
に伝えたいな。

えたじま大好き☆こんなにすてきなところ みんなおいでよ

【評価】
知識・技能 ①②
思考・判断・表現 ①②
主体性 ①

学校行事「遠足」
中町小わくわくオリエンテー
リング

ICTの効果的な活用
カメラ・クラスルーム・
ジャムボード

くらべる・分ける・つなげる
社会「まちのようす」「市のよう
す」

つなげる
理科「動植物のせいちよう」

分ける・くらべる
国語「情報 引用するとき」「おれ
の手紙」

くらべる・つなげる
道徳「花の気持ちになって」

【評価】
知識・技能 ②
思考・判断・表現 ②③
主体性 ②

くらべる・つなげる
国語「はじめて知ったことを知ら
せよう」「対話」

くらべる・つなげる
道徳「わたしのいいところ」

くらべる・つなげる
国語「すがたをかえる大豆」

学校活動
「楽しい社会見学」

くらべる・分ける・つなげる
国語「はんで意見をまとめよう」

学校行事「社会見学」
瀬戸ブルーに乗って、宮島に行
こう

【評価】
知識・技能 ③
思考・判断・表現 ④
主体性 ③

くらべる・分ける・つなげる
国語「つたわる言葉で表そう」

くらべる・分ける・つなげる
国語「コンピュータのローマ字
入力」

くらべる・分ける・つなげる
国語「わたしたちの学校じまん」

Catch Your Dream!

「江田島人物図鑑」から、児童が魅力的だと思う人を探し、担任からアポ取り。全部で4名の方と、直接やり取りできました。

Part1「知る・分かる」 PROJECT①『江田島の魅力再発見プロジェクト』

課題設定

○『江田島市統計資料』から、江田島市の現状と、地域が抱える課題を見つける。
○江田島市の将来のために、「江田島市の魅力」を効果的に発信するための計画を立てる。

「このままでは故郷がなくなる!?!」という切迫感に焦点化。今の自分ができる『移住者促進』とは?

情報の収集

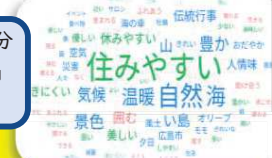
情報の収集

○「地域の人」と「移住者」にインタビューとアンケートを実施し、「江田島の魅力」を調べる。

「ふれあいサロン」と「藤三」に協力依頼。約200枚回収!

まとめ・表現

○インタビューやアンケートの結果を「魅力発見ポスター」にまとめ、協力していただいた方々に周知する。



○「地域の人」と「移住者」とで、感じている「江田島の魅力」の共通点や相違点を見つける。
○江田島市の将来の発展につながる「江田島の魅力」があるかどうか分析する。

アンケート回答をエクセルにまとめ、「テキストマイニング」を使用して分析。(結果は右図)地域の方は、「豊かな自然」と「人情味あふれる人」を『江田島の魅力』として捉えているようでした。

Part2「つなげる・深める」 PROJECT②『江田島の魅力深掘りプロジェクト』

課題設定

○「江田島の魅力」の中で、江田島の将来の発展に向けて、『深掘り』した方がよい魅力を整理し、『深掘りプロジェクト』の計画を立てる。

地域の方が『江田島の魅力』だと思っている「自然」と「人」は、自分達が『移住者促進』のために伝えられる魅力になるのかな? → 自分事にするために体験活動を!

情報の収集

○『深掘り』する魅力の事前知識を出し合い、調べるべきことを考える。

○実際に体験したり、話を聞いたりすることで、「江田島の魅力」を自分事として捉える。

マリンスポーツ体験・陶芸体験(「10サンジ」のご協力)・自給自足生活体験(「おきらくや」のご協力)を実施。

まとめ・表現

○『江田島に移住する(したい)人』に向けて、「江田島の魅力」を**広報する資料**にまとめる。

伝える相手や目的を明確に。作りっぱなしにならないように、市役所の観光課や、「フウド(移住に関わる一般社団法人)」と連携しながら、発信に向けて準備を進める。

整理・分析

○「江田島の魅力」について、『新たに気付いたこと』や『改めて魅力を感じたこと』を、『江田島に移住する(したい)人』に伝えるという視点で整理する。

KJ法やフィッシュボーン図を使用。話し合う中で、体験活動そのものの魅力以外に、『**体験活動を経て気付く江田島の魅力**』があることを知る子どもたち。

Part3「広げる・生かす」 PROJECT③『江田島の魅力発信プロジェクト』

課題設定

○「江田島の魅力」を効果的に発信するための計画を立てる。

年度当初に、教師が計画した流れではこの内容になるが、実際は少しずつ軌道修正しながらゴールに向けて動いている。ただ、「**江田島の将来的な人口増加につなげる活動をする**」という目的と、「**島内外に関わらず、出来るだけ多くの人に**」という**相手意識は変わることが無い**ように、事前に明確に示しておくことが大切。(教師側の教材研究は大いに重要になってくる。あとは、児童の興味関心に応じて臨機応変に…。)

情報の収集

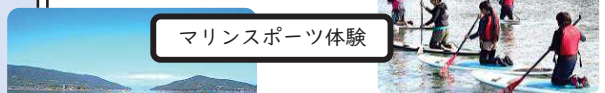
○江田島市役所や、地域おこし協力隊の方々から、情報発信で必要になる事項をインタビューする。

まとめ・表現

○1年間の学習の成果を、より多くの人に発信する。
○1年間の学習の成果を元に、自分と江田島との関わりについての変化や、自分自身の成長について振り返る。

整理・分析

○江田島の将来の発展のために、どのような方法で、どのような相手に「江田島の魅力」を発信するか、インタビューで集めた情報を整理する。



マリンスポーツ体験



陶芸体験

単元のゴール

江田島市の人口減少に歯止めをかけるために、江田島市の魅力を発信し、移住者を増やす取組をする。

単元名

江田島の発展を目指して～自分たちにできる地域貢献とは?～

Part1「知る・分かる」 PROJECT①『地域に貢献～やってみようプロジェクト!』

課題設定

○自己解決ではなく客観的で必然性のある課題発見!
○昨年度の「江田島の魅力を残したい企画」を振り返り、また『江田島市統計資料』やアンケート調査等から、**江田島市の現状と、地域が抱える課題**を見つける。

○江田島市の発展のために、自分たちにできる地域貢献をするための計画を立てる。

情報の収集

○地域の現状と課題を捉えるために、住民、移住者、事業所、他地域の人々に幅広くインタビュー等を実施し、**地域貢献の手がかり**を調べる。



整理・分析

○様々な人の思いの共通点や相違点を整理し、江田島市の発展に繋がる地域貢献について、**具体策**を見つける。

○江田島市の将来の発展につながる地域貢献として、**自分たちに実行できるかどうか**分析する。

多くの人の思いを聞くことはできても、それは自分たちの力で行えることなのか?と、悩み迷走する姿もみられました。

まとめ・表現

○自分たちにできると判断した**地域貢献**を計画し実行する。

まずは自分たちの思いを大事にし、2年間の学びを活かし、自分たちで計画し、外部とやり取りし、とにかく実行してみました!



江田島荘のお客様に島の魅力発信!

Part2「つなげる・深める」 PROJECT②『地域に貢献～リベンジプロジェクト!』

課題設定

○実行してみた地域貢献について、**実際の貢献度**を振り返り、良かった点や改善点を整理し、**地域の方や団体等と協働した実現可能性のある地域貢献**リベンジプロジェクトの計画を立てる。

PROJECT①の振り返りでは貢献度が低かったため、江田島市の発展をめざすための知見を深めるために、教師から「協働」のミッションを与えました。

情報の収集

○自分たちで考えた貢献が、江田島市のどんな発展につながっていくのか、**認識**することができました。

○各グループで「環境・自然」「生き方・キャリア」「伝統・文化」「町づくり・福祉」の地域貢献のテーマを確認し、事前に準備すべきことを考える。
○協働したい地域の方や団体等の情報を収集し、**コンタクト**を取り貢献内容について協議、連携する。



3年間の集大成といえるくらいの活動の場の広がりや、たくさんの人との出会いがありました。

整理・分析

○協働したい地域の方や団体等と協働した内容を、**実現可能性**という視点で整理する。

協働したい団体等とのやり取りと並行し、整理・分析して計画立案に繋がっていきました。計画立案は、「**地域貢献計画概要確認表(スプレッドシート)**」に随時入力させて、教師4人と10班の生徒が常に共有できるようにしました。

地域貢献計画概要 確認表

班	地域貢献テーマ (どのような地域貢献をするかで、江田島のどのような発展につなげるのか)	いつ	どこで どんなイベントで	誰と 協働者・協働場所 (コラボレーションする方々)
5班	パンフットについてのアンケートを観光局の方に配って、評価してもらう。	10月15日	MIKANマラソン	ミカンのマラソンの運営の人
6班	フウドのイベントの準備の手伝い	11月28日	ゆめタウン江田島 11月28日発表会	江田島市役所職員 フウドの職員さんの方
7班	図書館の利用しやすい環境づくりで利用者を増やし、江田島市民に本に対する興味を持たせる。	11月4日 11月9日	総務委員会	図書館職員の方



Part3「広げる・生かす」 PROJECT③『これが自分たちにできる貢献だ! 発信プロジェクト』

課題設定

○江田島市の発展のために、協働した方々の評価等を踏まえ、自分たちの地域貢献について、これまで関わった方々に効果的に発信するための計画を立てる。

公開研究会では、参加者にも評価をいただきながら、よりよい発信のための分析をすることができました。

情報の収集

○江田島市の発展のために、各グループ同士で地域貢献内容や自己評価貢献度をプレゼンテーションし、**相互評価**したり協議したりして、**発信に必要になる事項**を収集する。

3年間で関わった方々に生徒自らアポイントを取り、活動報告や自分たちの思いを語り合う会を開きました。

整理・分析

○江田島市の発展のために、実行した地域貢献について、どのような方法で、どのような相手に発信するか「**持続可能性**」と「**協働性**」の観点で整理し、相互評価等で集めた情報を比較・分析する。



まとめ・表現

○1年間の学習の成果を、関わってきた方々に発信する。
○1年間の学習の成果をもとに、自分と江田島市との関わりについての変化や、自分自身の成長について振り返る。

単元のゴール

江田島の発展を目指して、自分たちにできる地域貢献を実行する。

江田島市の将来のために、今の自分(たち)にできることは。

江田島市の将来のために、今の自分(たち)にできることは。

- 国語 「話し言葉と書き言葉」
- 社会 「わたしたちの生活と現代社会(公民)」
- 行事 「市議会アドベンチャー①」
- 社会 「願いを実現する政治」
- 国語 「私たちにできること」
- 国語 「みんなで楽しく過ごすために」
- 国語 「日本の文化を発信しよう」
- 国語 「人をひきつける表現」
- 算数 「資料の整理」
- 算数 「データの活用」
- 国語 「今、私は、ぼくは、」
- 社会 「日本とつながりが深い国々」
- 外国語 「What do you want to be?」

- 国語 情報整理のレッスン
- 国語 思考のレッスン
- 社会 わたしたちの生活と現代社会(公民)
- 英語 ディスカッション
- 国語 説得力のある構成を考えよう(スピーチ)
- 道: C-(16)郷土の伝統と文化の尊重
- 国語 多角的に分析して書くこと
- 道: 三年間の歩みを振り返ろう
- 道: A-(5)真理の探究、創造